

第7回総合戦略推進会議 議事要旨

1. 日 時 平成28年1月25日（月）18時30分～19時00分

2. 場 所 市役所10階 第6会議室

3. 出席者 計28名（有識者13名及び関係部長15名）

4. 議事内容報告

1 開会

※冒頭、事務局より欠席者の報告及び前回の会議以降の経過について報告

2 議題

(1) 帯広市人口ビジョン（案）について

（説明要旨）

[パブリックコメントの結果について]

- 全体で15名の方から51件の意見をいただいた。
これらの意見に対しては、案の修正を行わず、既に記載しているものを21件、今後の取り組みなどの参考とさせていただくものを7件、ご意見として伺ったものを23件として整理した。
- このうち、人口ビジョンに関わる意見は2件いただき、将来展望にある水準は難しいので見直してはどうかというものと、帯広市の人口を25万～30万にする考えが見えてこないというもの。
- いずれも、区分は「その他」とし、ビジョンにおける想定人口の考え方と、中長期的な人口減少を想定している旨を回答するもの。

[原案からの見直し部分について]

- 晩婚化の進行や未婚率について、データなどを基に記述を追加した。
- 理想とする子どもの数を同居家族の形態別に整理し、文言とグラフを追加した。
- 子育てに対する感じ方、子育てに対する負担や不安の理由に関するグラフを追加した。
- アンケート調査の概要を追加した。

（発言要旨）

- 特になし

(2) 帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について

(説明要旨)

[パブリックコメントの結果について]

- KPI の設定について、アウトカム(得た便益)を指標にするべきとの意見があり、基本としてアウトカム指標を設定している旨を回答するほか、目標が現状維持のものが多いので再検討をするべきという意見、毎年度の数値を設定する方が良いとの意見があり、それぞれ、現状維持もあるが基本的には一定の上昇や改善の水準で設定していることや、各年度での実績値を基に検証、見直しを予定している旨を回答する。
- 文言に遊び心が必要との意見については、記述において取り組みの標題など表現に工夫を行っている旨、回答する。
- バス・タクシーなどの二次交通の充実についての意見が10件あり、いずれも、「二次交通向けのWi-Fi導入」、「まちづくりと連携したバス利用の促進」などの記述をしていることから、記載済としている。
- 「観光」を基本目標の「新たなしごとを創り出す」に位置づけるべきとの意見については、基本的方向でその旨を記載済である旨、回答する。
- チャーター便の運行数と、子ども応援事業所に関わるKPIに対する意見については、設定の考え方などを回答するもの。
- 高速道路を含めた施設整備の意見に対しては、高速道路について、今後も要望活動を行っていく旨、回答する。
- 価値共創プロジェクトの表現に関しては2件の意見が提出されたが、いずれも表現の趣旨等を回答する。

[原案からの見直し部分について]

- 「新たなしごとを創り出す」の数値目標として、一段目の十勝管内農畜産物の輸出額を追加した。
- カタカナやひらがな標記を精査した。
- 用語集を追加した。
- 原案で未記載の新しい部分として、表紙を開いた「はじめに」に相当する部分を追加したほか、本会議の委員名簿などを追加した。
- このほか、原案段階で一部未整理であった写真を追加したほか、誤解を生じないように、細かな表現を再度見直し、例えば、「取り組みの基本方針」中、「十勝は道内で最も人口減少率が低く」の前に、「人口が増加している石狩管内を除き」の表現を付け加えるなどしている。

(発言要旨)

[パブリックコメントの結果について]

- 十勝版DMOに関する意見があったが、「十勝版」とあるので、オール十勝で進めるものと認識しており、マーケティングを統括的に行っていかななくてはならないが、今の帯広市にこういった組織があるのか疑問である。既存の組織の看板付け替えでなく、新たな組織をつくっていくとするなら

ば、やはり帯広市がしっかりと主導権を握って取り組んでいかなくてはならないと思うがいかがか。

➤ 観光産業が地域にしっかりと財源を生み出して、自走できるようにマネジメントするというのがDMOであると認識しており、その場合、帯広市単独で進めることは現実的ではなく、十勝・道東・北海道といった広域で取り組むことが基本であると考えている。

十勝で一気に進めるにしても、色々と難しい部分が生じてくると予想されることから、まずは考え方をきちんと持った上で、やれることをしっかりとやっていくことが近道であると考えており、現在は庁内や関係団体と協議を行っているところ。

既存組織の看板付け替えという考えは現在持っておらず、最も効率的な方法を、これから検討してまいりたい。

○ 町村の総合戦略の中においても、広域という単語を目にするが、DMOという言葉は余り見ないところであり、恐らくイメージできていないのだと思っている。帯広市が引っ張っていきながら、外からのお客さんの確保や情報発信など、オール十勝で取り組んでいただきたい。

○ オリンピック等の開催に係る取組案を盛り込むべきとの意見があったのに対し、食のブランドづくりといった取り組みを進めていくとの回答をしている。

これ自体は問題ないと考えているが、意見の趣旨は、帯広を売り込んで合宿誘致につなげていくなど、もっと見える取り組みなのではないかと思う。オリンピックやラグビーのワールドカップに向けた誘致活動など、現在の取組状況や考え方について伺いたい。

➤ ラグビーのワールドカップに対する取り組みは特に行っていないが、オリンピック等に対しては、北海道を通して、候補地として名乗り出ているほか、大使館に対するプロモーション活動を実施している。いずれにせよ、まだ結果が出るような状況ではなく、総合戦略に何か明記することは現段階では考えていない。

[原案からの見直し部分について]

○ 特になし

3 その他

※事務局より、今後の予定について報告があった。

以上